



簡易ガイド・課題・手入力のデータ入力

レシートや注文書を、今でも手で打ち直していますか？ 今後は、項目が読み取られた状態で届きます。

納品書、注文書、レシートの値は、キーボードで打ち込まれて、ERP、表計算ソフト、または案件管理システムに入ることがよくあります。この簡易ガイドでは、文書が遠回りせずに届く方法、IDP Agentがお使いのフィールドを読み取る方法、そしてデータがさらに渡される方法を示します。出荷、受注、経理の担当者向けです。

要点を一文で

必要なフィールドを一度だけ記述してください。それ以降、PaperOfficeはすべての新しい文書からそれらを読み取り、データ項目として保存し、エクスポート、REST API、またはMCPを通じて渡します。

01・課題の内容

データはすでにそこにあります。 それでも、誰かが打ち込んでいます。

納品書、注文確認書、レシートは、紙、スキャン、またはメールで届きます。値をシステムに入れるために、誰かがすべての文書を読み、数字、数量、日付を打ち込みます。その作業は、顧客や配送に使える時間を奪い、入力ミスを生みます。

なぜ起こるのか

レイアウトはそれぞれ違う

仕入先や運送業者はそれぞれ独自の書式を使います。送信者ごとに固定のテンプレートを維持するには手間がかかるため、打ち直しが最低限の方法として残ってしまいます。

入力経路が多く、一つの流れがない

受付には紙、フォルダーにはスキャン、メールボックスには添付ファイルがあります。入力始める前に、誰かが文書を集め、分けなければなりません。

表は手作業

ヘッダーの項目は素早く入力できますが、明細行には時間がかかります。品目、数量、単位を一行ずつ移すことが、最も時間がかかります。最も間違いやすい作業です。

気づくポイント

- 月末や配送の後、入力を待つ文書が積み重なっていく。
- 経験のある職員が、配送や顧客との対応ではなく、何時間も打ち直しに費やしている。
- 一行ずつ入力する時間がないため、明細行が短縮されたり、まとめられたりしている。
- 一人が休暇や病気で不在になると、データ入力が止まってしまう。
- 同じ値が、複数のシステムや表計算ソフトに打ち込まれている。

02・PAPEROFFICEでの進め方

一度だけ記述する。 それ以降は、読み取られる。

流れは、受け付けから、名前の付いたフィールドを経て、お使いのシステムに至ります。文書はスキャナー、メールボックス、フォルダー、またはスマートフォンから届き、PaperOfficeは文章と表を読み取り、IDP Agentがお使いのフィールドをデータとして提供します。

1 遠回りせずに受け付ける

コネクターは、SFTP、WebDAV、S3を通じてフォルダーから、IMAPメールボックスから、またはScanner Endpointから、ファイルを取り込み、保存先のWorkspaceに入れます。

モジュール: CONNECTORS

2 束を分ける

束全体が一つのPDFとして届く場合、Split Agentがそれを個々の文書に分けます。区切りのシートがなくても分けられ、各部分を分かりやすい名前で保存します。

モジュール: SPLIT AGENT

3 文章と表を読み取る

AI-OCRは、スキャン、写真、PDFを、各行の位置とともに読み取ります。Ultraは、表と手書き（納品書のメモなど）も加えます。

モジュール: AI-OCR

4 フィールドをデータとして

IDP Agentは、納品書番号、納品日、明細行など、記述したフィールドを読み取ります。Workspaceでは、AI-DMSの処理の後に自動で実行されます。

モジュール: IDP AGENT

5 打ち直す代わりに渡す

値は、データ項目として文書に残ります。Excel、CSV、またはJSONとしてエクスポートするか、REST APIを通じて文書を送り、フィールドをJSONで受け取れます。

モジュール: IDP AGENT

03・アプリでの操作

納品書から アプリの記録まで。

スキャナーからエクスポートまでの五つの手順です。IDP Agentはすべてのプランに含まれ、料金は利用量に基づきます。

1 スキャナーを接続する

Document AI > Storage Mounts で、インポート元としてStorage Mountを追加し、スキャナエンドポイントとして提供 を選びます。スキャナーで、アプリに表示されるホスト、ユーザー、パスワードを使い、SFTPの送信先を入力します。

2 受け付けを自動化する

Document AI > Connectors で、Scanner Endpointまたはメールボックス用のコネクターを作成し、保存先のWorkspaceを選びます。新しいファイルは定期的に届きます。

3 エージェントを作成してテストする

納品書の一つを選び、アクション > エージェントとワークフロー > IDP と 新規エージェントを作成 を使います。納品書のテンプレートを選ぶか、フィールドを記述してから、すべてのテストを実行 を実行してください。

4 Workspaceで実行する

Document AI > Workspaces の下で、Workspaceの IDP Agent タブを開き、そのエージェントを注文に追加します。その後は、AI-DMSの処理のたびに実行されます。

5 過去分を追いつかせてエクスポートする

古い文書を選び、既存エージェントを適用 で読み取ります。共有とエクスポート > データをエクスポート を使うと、データの表をExcel、CSV、またはJSONとしてダウンロードできます。

現場からのヒント

仕入先一社と表一つから始める 最も多くの文書を送ってくる送信者を選び、テスト実行では、まず明細行の表を確認してください。そこが、打ち込み作業の大部分を占めるからです。フィールドは後からエージェントに追加でき、最初からやり直す必要はありません。

04・事例

ある運送業者は 打ち直しをやめます。



従業員60名の運送業者には、毎日納品書が戻ってきます。多くはしわくちゃで、手書きのメモが付いています。出荷チームは、請求書を顧客に送る前に、納品書番号、日付、明細行を運送ソフトに打ち込んでいます。

導入前

- 運転手が、夕方に納品書を事務所に届け、箱にまとめられる。
- 出荷チームが、すべての納品書を、一行ずつ運送ソフトに打ち込む。
- 読みにくいメモのせいで、運転手や顧客へ問い合わせの電話がかかる。
- すべての納品書が入力されるまで、顧客への請求書は待たされる。

PAPEROFFICE導入後

- 夕方、束はネットワークスキャナーを通じて、納品書のWorkspaceに直接入る。
- Split Agentが束を分け、IDP Agentが番号、日付、明細行を読み取る。
- Ultraの段階では、エージェントが運転手のメモを別のフィールドとして読み取る。
- 出荷チームはデータをCSVとしてエクスポートし、未処理のフィールドがある文書を確認する。

説明のための例であり、実在の顧客ではありません。お使いのソフトウェアがどのフィールドを必要とするか、CSVまたはAPIを受け付けるか、そしてスキャナーがどのようにファイルを送るかを確認してください。

05・チェックリスト

まだ手で打ち込んでいる分はどれくらいですか？

これらの点は、打ち直しがどこで時間を奪っているか、そしてどの受け付けが最も早く効果を出すかを示します。

- | | |
|---|---|
| ☐ 今日、どの文書の種類を打ち直しているか。また、月に何件か。 | ☐ それらはどの経路で届くか。紙、スキャナー、メールボックス、フォルダー、またはスマートフォンか。 |
| ☐ お使いの対象システムが、いつも必要とするフィールドはどれか。また、時々必要なのはどれか。 | ☐ 一行ずつ移されている明細行の表はあるか。 |
| ☐ 束が一つのPDFとして届き、まず分けなければならないことはあるか。 | ☐ 文書に、メモ、署名、数量の訂正などの手書きが含まれているか。 |
| ☐ どの送信者、または、どの書式が最も大きな割合を占めているか。 | ☐ お使いのシステムは、どのようにデータを受け取るか。ExcelまたはCSVからのインポートか、REST APIを通じてか。 |
| ☐ 抽出された値は、次の段階に進む前に誰が確認するか。 | ☐ 今後、どのネットワーク機器がPaperOfficeへ直接スキャンするべきか。 |

06・よくある質問

導入の前に、チームが データ入力について尋ねること。

仕入先ごとにテンプレートが必要ですか？

いいえ。フィールドを一度だけ平易な言葉で記述すると、IDP Agentがレイアウトが変わっても内容からそれらを読み取ります。請求書や納品書などのテンプレートは、開始を容易にします。

写真や手書きはどうですか？

AI-OCRは、スキャン、写真、PDFを読み取り、Ultraのティアでは手書きも読み取ります。手書きやチェックボックスのあるフォームについては、エージェントカタログが、Ultra Pro Maxモデルを使った無料のテンプレートを提供しています。

ほかの言語の文書はどうですか？

AI-OCRは、各ページの言語を自動で検出します。エージェントでフィールド名を設定し、抽出された値の言語と、数字、日付、通貨の形式を設定します。

明細行は一行ずつ読み取られますか？

はい。種類が表のフィールドは、各明細行を、定義した列（品目、数量、単位など）を持つ独自の行として返します。ボタン一つで、すべての行をExcelにコピーできます。

後からフィールドを追加できますか？

はい。エージェントにフィールドを追加すると、次の実行から含まれます。すでに保存されている文書は、選択して再度エージェントを適用することで追いつかせられます。

データはどのように当社のシステムに入りますか？

選択した文書をExcel、CSV、JSON、またはPDFとしてエクスポートするか、REST APIまたはMCPを通じて渡します。APIでは、文書を送ると、フィールドがJSONとして返されます。たとえばn8nのワークフローから利用できます。

07・始め方

次の納品書を、そのままPaperOfficeにスキャンしてください。

app.paperoffice.aiでアカウントを作成し、文書をアップロードして、

アクション、**エージェントとワークフロー**、**IDP** から最初のエージェントを作成してください。その後、スキャナーを接続します。料金は利用量に基づき、詳細は料金ページにあります。

受け付けを選ぶ

文書がどこから来るかを決めてください。ネットワークスキャナー、メールボックス、サーバー上のフォルダー、または外出先での写真用のモバイルアプリです。

最初のエージェントを作る

最も一般的な文書を選び、フィールドを記述して、テスト実行でヘッダーのフィールドと明細行が正しいかを確認してください。

引き渡しを決める

データがシステムにエクスポートで入るか、REST APIを通じて入るかを、ITと合意し、一日分の受け付けでテストしてください。

関連データシート

IDP Agent

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-idp-intelligent-document-processing-ja.pdf

AI-OCR

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-ocr-ja.pdf

Connectors

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-connectors-ja.pdf

ネットワークスキャナー

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-integration-network-scanner-ja.pdf

Split Agent

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-pdf-split-ja.pdf

モバイルアプリ

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-mobile-app-ja.pdf

このテーマの関連情報

手入力のデータ入力

paperoffice.ai/ja/kaiketsu/problem/ai-manual-data-entry-automation-elimination



このテーマの関連情報

paperoffice.ai/ja/kaiketsu/problem/ai-manual-data-entry-automation-elimination

料金

paperoffice.ai/en/pricing

お問い合わせ

paperoffice.ai/ja/otoiawase